

サウンディング型市場調査の結果概要

質問項目	回答（意見）
(1) 施設の管理運営に係る参画意欲と具体的な手法について	<p><参画意欲あり> 2事業者（手法：指定管理）</p> <p><現時点では参画意欲なし> 2事業者</p>
(2) 施設の設計建設に係る参画意欲と具体的な手法（公設民営・民設民営）について	<p><参画意欲あり> 2事業者（手法：公設民営）</p> <p><現時点では参画意欲なし> 2事業者</p>
(3) 施設の機能・魅力向上につながる事業アイデアやノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設としての事業展開（キャンプ・グランピング、BBQ広場、シェアトレイル等） ・特徴的なセクションの作成や観客を意識したコース作り ・東北地方在住者への無料開放・料金割引による需要引き込み ・ネット環境（Wi-Fi）の整備 ・デジタルサイネージの有効活用 ・ターゲット層（初心者～上級者）を幅広く設定したコース造り
(4) 設計建設業者や管理運営業者を選定する際、市に求める公募条件	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計の際に、MTBの専門家やアドバイザーに設計監修を依頼すること
(5) 類似施設の管理運営の実績	<p><実績あり> 1事業者（競輪場等）</p> <p><実績なし> 3事業者</p>
(6) 整備施設において想定される主要なリスクとその対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害によるコース等の損壊 ➡災害時、早急な復旧を行うための体制づくり ・コース等における怪我人の発生 ➡コース内の怪我人を発見するための見回り強化、救護体制の確立 また、管理棟まで怪我人を運び出すことを考慮した設計の作成
(7) 単年度事業収支の妥当性（※事前説明会の際に提示）	<ul style="list-style-type: none"> ・MTBに限定したオフロード施設では、収支の黒字化は厳しい ・施設管理費等の設定根拠が不明確なため、現時点での妥当性の判断は難しい
(8) その他、自由な意見や要望	<ul style="list-style-type: none"> ・立地条件や自然環境は、オフロード施設の整備に向いている ・大会の開催を見込み、ジャンプコースやパンプトラック等を大会コースの一部に組み込めるような設計を組むべき ・山の高低差の都合から、ダウンヒルの大会は実施が不可能 ・MTBに限定せず、より広い視野での事業展開を検討すべき ・ジャンプコースを含むスキルアップエリアは、初心者利用を促すために必須